



Ma~ri~s Corner

マリー物のたいー

マリコ・クック Mariko Cook
2012年8月から国際交流員として、
浦添市役所国際交流課に配属される。
米国インディアナ州出身
原文・和訳：マリコ・クック

母なる自然、勘弁してください!

私が沖縄に来て、1か月以上が経ちました。短い期間にも関わらず、2週間に1回の割合で台風が沖縄本島に接近してきました。今回沖縄に来て最初にあった台風が13号でした。台風13号が沖縄本島を通過中だった日曜日の朝、私は今住んでいるアパートに引っ越ししている最中でした。強い雨と風の中、親戚と一緒に重い荷物を運びながら3階建てのアパートの階段を上ったり下りたりして本当に大変でした。考えてみると、台風13号の風の中で引っ越しをした人はほとんどいないはずです。私はすごい経験をしたんだなー、と思います。

次に経験した台風は皆さんも覚えていると思いますが、台風15号でした。台風15号程の大きな台風が沖縄に接近したのは60年振りぐらいで、台風慣れている地元の方でさえ騒いでいました。私は台風対策のためにペットボトルの水やろうそく、保存食まで買いました。その週末は宜野湾で開催されるミュージックフェストに行く予定だったのですが、台風のせいでは11月に順延されてしまいました。結局アパートから一歩も出ないままその週末を過ごしました。

この原稿を書いている最中にも新たな台風がまた沖縄に接近しています。それは16号です。今週末は、渡嘉敷島のビーチで大勢の友達とキャンプする予定を先月から立てていたのですが、この計画も結局台風のせいでは台無しになりそうです。この3つの台風の共通点が一つあります。それは毎回週末に接近しているという事実です! 沖縄の自然をもっと探りたい私ですが、母なる自然はなかなかそうさせてはくれません。

Give Me a Break, Mother Nature!

Over a month has passed since I came to Okinawa. Despite it being a short amount of time, typhoons have been hitting the main island of Okinawa at about a once every other week pace. The first typhoon since coming to Okinawa was Typhoon Haikui (#13). As Typhoon Haikui was passing through the main island of Okinawa, it was a Sunday morning and I was moving into the apartment I currently live in. Climbing up and down the stairs of a three-story apartment building in strong gusts and rain with my relatives was quite terrible. Now that I think about it, there probably aren't very many people who moved during those gusts of Typhoon Haikui. So, I believe I experienced something incredible!

The next typhoon I experienced is one that I'm sure you all remember as well - Typhoon Bolaven (#15). It has been nearly 60 years since a typhoon as large as Bolaven has come through Okinawa, and even locals I know who are used to typhoons were in a clamor. In order to prepare for the typhoon, I bought bottled water, candles, and even non-perishable foods. I was planning on going to a music festival that was scheduled to be held that weekend, but due to the typhoon, it is now postponed until November. I ended up spending that entire weekend not taking one step out of my apartment.

As I am writing this article, a new typhoon is on its way and is approaching Okinawa. This time, it's Typhoon Sanba (#16). I had made plans last month to go camping with a large group of friends at a beach on Tokashiki Island for this weekend, and once again it seems as though my plans have been ruined due to the typhoon. These three typhoons have one thing in common. That is the fact that each of them come on weekends! I want to continue to explore the nature of Okinawa, but Mother Nature doesn't seem to want to let me.



てだっ子 STUDIO スタジオ



止まらない!



仲村 春人ちゃん (1歳) 西原在

仲良し兄弟!
わんはく顔!



幸地 良依ちゃん (5歳)
良来ちゃん (3歳) 宮城在

Yeah~
☆僕2歳~♪♪



比嘉 哩玖ちゃん (2歳) 西原在

「てだっ子Studio」写真募集

- 子どもの写真を郵送または画像データをメールで毎月12日までに送付してください。窓口へ直接提出も可。集合写真は不可。
- ※ 被写体の子どもの居住地区(安波茶・伊相など)・氏名(ふりがな)・年齢・一言コメントの記入を忘れずに!

〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
浦添市役所 国際交流課
☎876-1234 (内線2613・2614)
E-mail: kokusai@city.urasoe.lg.jp

平成24年度浦添市立図書館読書講演会

2012うらそえYA文芸賞表彰式

入場無料

本は力

英語と日本語のあいだで格闘する
楽しさを伝えます。

11月23日(金)勤労感謝の日
午後2時~4時(開場1時30分)

会場 浦添市社会福祉センター
定員 250人(先着順)
受付期間 10月27日(土)~11月22日(木)
受付方法 図書館で配布しているチラシの裏面が申込用紙となっていますので記入の上、お申込みください。
電話・FAXでも受け付けています(市立図書館ホームページからもダウンロードできます)。



撮影 写真家: 森崎健一

講師 金原 瑞人氏

1954年生まれ。法政大学教授・翻訳家。児童書やヤングアダルト向けの作品のほか、一般書やノンフィクションなど翻訳書は400点以上。訳書に『青空のおこころ』『花言葉をさがして』『パーシー・ジャクソンとオリンポスの神々』『心のナイフ』など。エッセイに『翻訳家じゃなくてカレー屋になるはずだった』などがある。

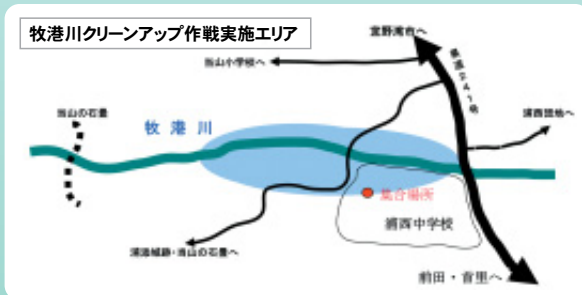
問い合わせ 浦添市立図書館 ☎876-4946 FAX875-1772 (午前9時30分~午後7時 月曜休館)

第11回牧港川クリーンアップ作戦 ボランティアしてみませんか!

牧港川クリーンアップ作戦は市民、事業者、市民団体および行政が「協働」して清掃活動を行い、活動を通して広く市民に牧港川の現状を知っていただく機会です。また、みんなに親しまれる川にするために実施するものです。多くの市民の参加をお待ちしています。



期日 10月21日(日) 午前9時~11時※雨天時中止
場所 牧港川上流域(浦西中学校周辺) ※下図参照
服装等 帽子・長袖・長ズボン・長靴でご参加ください。
駐車場 浦西中学校の運動場および体育館側駐車場が利用できます。



問い合わせ

環境保全課 ☎876-1234 (内線3218)

「注意で防ごうハブ咬症!ハブ対策は環境整備で!」 ハブ咬症防止運動月間

ハブ咬症の発生は、産卵期の7月から8月は減少しますが、9月から11月にかけては増加します。ハブが生息・侵入しにくい環境を整えることにより、ハブによる被害を未然に防ぎましょう。

環境整備をしてハブ咬症を防ぎましょう

- ①ハブの休息、産卵場所をなくす!
 - ・石積みの穴埋め(セメント等でふさぐ)。
 - ・庭などの草木を剪定し、日光が入るようにする。
 - ・不要な木材、パイプ、植木鉢などは野積みせず片付ける。
- ②ゴミなどを放置しない!
 - ・ハブの餌となるネズミが集まらないようにする。
- ③空き地の適正管理!
 - ・雑草の生い茂っている空き地はゴミなどが投棄されやすく、ネズミが集まりハブを誘い込むため、所有者は定期的に草刈りをお願いします。

もし、ハブに咬まれたら!

- ①大声で助けを呼び、救急車を呼んで病院へ連れて行ってもらいます。
 - ②助けを待つ間、傷口から血と一緒に毒を吸い出します。
 - ③助けが来るまで時間が掛かる場合は、指が1本通る程度に緩く縛ります。
- ハブを見かけた場合は…警察に通報して捕獲してもらってください。環境保全課では、ハブ捕獲器の貸出しを行っています。



問い合わせ

環境保全課 ☎876-1234 (内線3218)
沖縄県衛生環境研究所 ハブ研究担当 ☎946-6710